

平成28年度
人権協会ヒューマンセミナー報告

「子どもの人権問題を考える」

第1回

実施日 平成27年11月24日（火）

テーマ

「おとなが変れば子どもが変る

みんなで考える地域の未来」

講師 辻 由起子さん

（茨木市市政顧問などを兼任）

※ 子どもを取り巻く環境に対して、家庭・地域・社会がいかに対応すべきかについて、現場の状況を多用されながら分かりやすく話をされ、理解と認識が深まりました。

第2回

実施日 平成28年3月11日（金）

テーマ

「知っていますか？

今どきの子ども事情」

講師 辻 由起子さん
（茨木市市政顧問などを兼任）

※ 子どもを取り巻く環境は、益々厳しくなっているが、その状況の問題点については、常に正確に把握し行動することの大切さを学びました。
また、子どもの問題に対しては、「地域」の「行動や教え」がいかに大切かについて、事例を持って話していただき、充実したセミナーとなりました。



子どもの人権問題について

本年度は、前年度に取り組みました「子どものいじめ問題」につづき、『子どもの人権問題』を主な活動の柱として取り組んできました。

経過と内容についての詳細は、別表をご参照ください。

その結果、参加者の「子どもの人権問題と地域の役割の重要性」に対する認識と意識の向上が図られました。

しかし、国や自治体そして教育関係者の間において、相当な努力が傾注されているにも関わらず、毎日のごとく子どもが犠牲となっている事件等が報道されています。残念ながら地域コミュニティの弱体化・モラルの低下・自己中心社会となっている今日の環境下で、いかにして子どもの人権問題を理解して、事件等の防止策を連携推進していくのは非常に困難が伴います。

ことあるたびに、声高に「子どもは国の宝である。子どもは大人しか守ることができない」の原点に立って、地域との課題の共有・連携」が強く求められています。大切な子どもの命を守るために、今一度、各々の機関・地域・団体などが、子どもの人権問題にからむ事件の防止に向けての理解と、組織間の連携体制の確立が急務であります。

啓発活動を中心に、地域の中心である校区の推進委員会や協会加盟の諸団体と連携を密にして行動していかねばならないと考えます。

人権教育啓発作品展

実施日 平成27年12月9日(水)から15日(火)
場所 摂津市コミュニティプラザ・
コンベンションホール

※ 作品の提供者(応募作品は約1000点)はもとより、協会の役員・常任委員が率先して作品展を盛り上げる協力・努力・行動をしていただいたこともあって、盛会裏に挙行することができました。

入場者の反響も出典品に対する評価が非常に高いものがありました。
一方、特に関係が深いと思われる団体からの入場者が少なかったことは、反省の材料として残ります。

人権教育啓発作品集

展示作品の中から、該当校などと人権協会、人権教育研究会が協議して選んだポスターや標語などを掲載した作品集を発行しました。
ご入用の方は、部数に限りがありますが、人権協会にご連絡下さい。

平成28年度 定期総会



平成28年度 定期総会

5月10日(火) PM 1:30

安威川公民館大ホールで開催

平成28年度の摂津市人権協会の定期総会が5月10日(火)に開催されます。

すでに、3月4日(金)の常任委員会で、事業計画の原案が提示されています。

原案は、「...。人権をめぐる社会環境は容易に改善されず...様々な人権問題が発生しています。このような中では、今一度人の命に直結する身近な人権問題に関心を深め、地域住民がその解消に向けて関係機関および各団体と互いに協力しながら、地域力の向上に取り組むことは最も重要であると考えます。

...摂津市人権協会は、啓発事業に重点を置き、「絆を基本として『気づき』と『つながり』をベースとして、組織の強化に努め、多くの関係機関・団体と連携を図りながら事業を展開していきます。また、平成28年4月に施行される『障害者差別解消法』に鑑みて、A障がい者問題を主な活動のテーマとし、みんなの問題として取り上げて活動していく」ことを提言しています。

総会では、事業計画(案)の他、事業経過報告・決算・予算案が審議されます。

定期総会記念行事

辻 イト子 講演会

輝けいのち

〜障がいを持つ長女と共に生きて〜

大阪のおばちゃんが、元気を運びまっせ！『いつも明るく』がモットーの辻さんのお話から『自分らしい生き方』について考えてみませんか。

笑いあり・涙ありの90分です。

※手話通訳あり・入場無料

※公共の交通機関をご利用ください

※一時預かりあり 1歳半〜就学児(先着順)

※午後 2時30分から開始予定ですが、

総会終了後ですので、多少前後する場合があります。

